

授業改善推進プラン

第1学年

	指導方法の課題分析	目指す授業の改善計画	備考
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○音読の指導や読書指導時間の充実を図る必要がある。 ○話の順序を考えて話したり、大事なことを落とさないように聞いたりする基本的な技能を指導していく必要がある。 ○その場に合った話し方や伝え方の型を身に付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の始めは、担任が範読をしている間、たどり読みをさせ、その後、いろいろなやり方で音読指導を行う。 ○読み聞かせなど、本に親しむ授業を積極的に取り入れている。 ○いろいろな教科や機会に、話す・聞く活動を入れる。基本的な話型、聞き方の約束事の指導をする。二人組での話し合い活動を積極的に取り入れる。 ○「特殊音節の読み」の継続したアセスメントと指導を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話の聞き方あいうえお ○気持ち言葉の掲示 ○声のものさし ○話型の提示 ○言葉集め
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○たし算やひき算の計算について個人差に対応した指導が必要である。 ○生活体験と算数の学習内容を結び付けて考える習慣を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じて、実物や算数ブロックなどを用いて、計算の仕方を考えさせながら習得させる指導を行う。 ○子どもの身近な生活場面から問題を作り、体験的に問題を解く活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算練習の宿題の日常化 ○具体物、半具体物の活用 ○算数プリントを利用した自主学習 ○単元のまとめのプリント学習
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と身近な人々、及び自然との関わりが具体的に把握できるような体験学習の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動のための事前の準備を充実させる。 ○自分の発見したことや、友達が発見したことを伝え合う活動を取り入れる。 ○他学年と関わる機会を計画的に設定する。 ○外部講師による野外体験活動を季節ごとに取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家の手伝いなど、家庭と協力して体験を豊かにする。 ○子ども広場 ○生活科見学 ○他学年との活動
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○話を聞く、活動するのめり張りをしっかりと付けて、落ち着いて学習できる環境を作る必要がある。 ○曲やリズムに親しみながら楽しんで活動する工夫をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話を聞く時の姿勢の徹底や、音の合図に合わせて活動に取り組むなど、児童の意識を集中させて、落ち着いて学習できるようにする。 ○体を使ってリズム遊びを楽しむ。 ○音楽の授業時間以外でも歌を歌う時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○鍵盤ハーモニカ練習帳の活用 ○歌集の活用 ○毎月の歌
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで材料や用具に親しみ、自分の好きな感じや表したいものを見付けたり考えたりする学習態度を身につける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の楽しさ、材料や用具がもつ特徴を感じさせ、主体的な学習活動を促す。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かす楽しさを味わわせるとともに、基本的な動きを身に付けさせる指導の工夫が必要である。 ○集団行動にかかる時間の短縮化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スモールステップで達成感をもたせるような活動にする。 ○友達との交流を中心に易しく楽しい運動を毎時体育の授業の中に取り入れる。 ○集団行動における明確なルールを提示する。 ○基本的な動作について、ポイントを伝えるなど具体的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○がんばりカードの活用